

市の支援で生まれた

## 高崎ブランドを売り込むデザイン



農園で採れた果物やハーブを使った商品のラベルのデザインを一新。昨年導入した乾燥機で新しい商品開発も



スイーツのように甘い桃「ミルキームーン」をイメージして、これまでにない洋菓子のような化粧箱のデザインに

**市長** やり方フレットなどを作りました。この箱はおしゃれですね。生産量は確保できていますか？

**須田** 地元の方にも協力してもらい、平成ゴールドの「ミルキームーン」という品種の生産量を増やしたいと主人も考えたのですが、どこも後継者不足で…。

**市長** そうですか。私は高崎の桃を都内の高級果物専門店で販売したいと考えているんですよ。他の農産物についても大手デパートなどに働きかけていますが感触が良い。問題は安定して供給できる生産量です。他にも首都圏の店舗で、高崎の農産物を買ったら売り上げの5パーセントを市が補助するという制度をやっています。地産多消を目指し、外に向かってどんどん売りますよ。

**依田** ありがたいなあ。高崎は新しい野菜も増えたと、良い物がたくさんありますよ。

**市長** 山木さんは、果樹や野菜を原材料にして、さらに発展させた商品を作っているんですね。

**山木** 梨や桃の果樹園とジェラート



須田直子さん  
高崎生まれの桃の新品種・平成ゴールドを「ミルキームーン」としてブランド化。夫婦で桃園を営む。



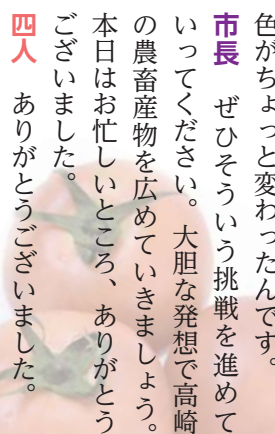
山木久利さん  
自分の農園で、低農薬で栽培した果物や野菜、ハーブを使って、ジェラートや菓子・ジャムなどを製造・販売。

**市長** この箱は、高崎の桃を都内の高級果物専門店で販売したいと考えているんですよ。他の農産物についても大手デパートなどに働きかけていますが感触が良い。問題は安定して供給できる生産量です。他にも首都圏の店舗で、高崎の農産物を買ったら売り上げの5パーセントを市が補助するという制度をやっています。地産多消を目指し、外に向かってどんどん売りますよ。

**依田** ありがたいなあ。高崎は新しい野菜も増えたと、良い物がたくさんありますよ。

**市長** 山木さんは、果樹や野菜を原材料にして、さらに発展させた商品を作っているんですね。

**山木** 梨や桃の果樹園とジェラート



山木久利さん  
自分の農園で、低農薬で栽培した果物や野菜、ハーブを使って、ジェラートや菓子・ジャムなどを製造・販売。

**市長** 海外でやっている高崎のものづくりフェアを、今年はアジアで開催しますが、そこで高崎の農産物などを売ることにはしたんですよ。

**依田** 日本の農産物などはものすごく評価が高いですよ。

**市長** 高崎産の「良い物」を売り込んで来ようと考えています。頑張っている人を応援したいですからね。

**須田** それはうれしいですね。

**市長** 海外でやっている高崎のものづくりフェアを、今年はアジアで開催しますが、そこで高崎の農産物などを売ることにはしたんですよ。

**依田** 日本の農産物などはものすごく評価が高いですよ。

**市長** 高崎産の「良い物」を売り込んで来ようと考えています。頑張っている人を応援したいですからね。



依田延雄さん  
高崎市農業委員会の会長。頑張る農業者がスムーズに連携できるよう尽力している。トマト農家。

それから、高崎のスマートインターチェンジ近くに高崎産農産物の販売センターを作ります。そこで売って知名度が上がれば、若い人も農業に関心を持ってもらえます。

**依田** 若い人に私もときどき言うんですけれどね。行政だとかに頼らずに、まずは自分たちで知恵を出して考えてやろうよと。

**市長** そうですよ。そういうガッツが無いといくら支援があっても発展しないですよ。受け身の助成ではなく、挑戦する、ガッツのある人に対して支援していきたいと私は思っています。

**塚越** ありがたいです。補助金を活用した花の新品種の開発ですが、原子力研究所と連携して試験しています。去年初めてラベンダーの花の色がちよっと変わったんですよ。

**市長** ぜひそういう挑戦を進めていってください。大胆な発想で高崎の農産物を広めていきましょう。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

**四人** ありがとうございます。



売り込め！うんまい高崎の農産物

## 頑張る農業者を後押し

### 市長対談



市は農業の分野でチャレンジする市民を後押しするため、さまざまな施策を行っています。平成27年度から「農業者新規創造活動事業補助」制度を設け、新品種や新商品の開発、普及宣伝活動や6次産業化、農商工連携に取り組む生産者を総合的に支援しています。今回は、制度を活用した生産者の皆さんをお迎えし、その取り組みについてお話ししながら高崎の農業について考えます。



富岡賢治 市長  
美味しい高崎の農産物をもっと多くの人に食べてもらいたいと思っている。

### 高崎産農産物にブランド力を

**市長** 高崎市には農業者の皆さんの取り組みを支援する制度があります。この制度を始めたきっかけは、榛名の梨農家の方から「首都圏の小売店に並べるのに魅力的な箱を作りたい」という声を聞いたことでした。あと梅ジュースというおいしい飲料がありますが、このボトルが開けやすくてデザイン性のあるものならばもっと首都圏などでも売り込めるのではないかと私も考えていたんです。それでブランド商品開発など総合的な支援を昨年度から始めました。高崎の農産物は、品種も質も、味も良いという認識が高まっていますが、さらにブランド力を上げることが必要だと私は考えています。ブランド力が上がれば、売り上げが伸びてビジネスとしても成立する。そうなれば、自然と後継者問題の解消にもつながっていきます。さて、塚越さんの会は、農業者が集まっているという工夫されていますね。

**塚越** はい。平成24年に認定農業者



塚越正敏さん  
平成24年に6次産業化を目指して発足した市農業者先端技術情報化研究会の会長。園芸農家。

### 魅力を発信、うんまい高崎

**市長** 須田さんは、桃の新品種を改良して作られているそうですね。大変素晴らしい桃だと伺いましたが。

**須田** もともと義父が平成9年に「平成ゴールド」という黄色い桃を品種登録したんです。土壌の改良を続けて減農薬で栽培したらすごくおいしくなって、お客様にも大好評です。ブランド化事業を活用して、箱

26人で会を発足しました。日本で第2位の生産量を誇る高崎の梅を使った商品開発を考えると、約1年をかけて完成したのが梅餃子です。梅が苦手な子どもたちにも好評です。

**市長** 梅はいろんなところに使われていますよね。梅酒や梅シユウマイ、梅スパゲッティ、健康飲料…。

**塚越** 今は、農家で余って捨ててしまいう梅酢を、健康食品などに有効活用できないかと取り組んでいます。

**市長** 高級な梅はより高級に、それ以外は健康飲料などにも利用する。私も同感です。捨てるのはもったいないですからね。